

もみじ福祉会 ニュース

# がんばるうや

2002年5月 第30号

発行/社会福祉法人

もみじ福祉会



知的障害者授産施設(通所) 第一もみじ作業所  
身体障害者通所授産施設 第二もみじ作業所  
グループホーム つばさ・たんぽぽ

〒730-0823 広島県広島市中区吉島西2-1-24  
TEL(082)243-0331 FAX(082)243-0497  
HP: www.fukushi-momiji.or.jp

### もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

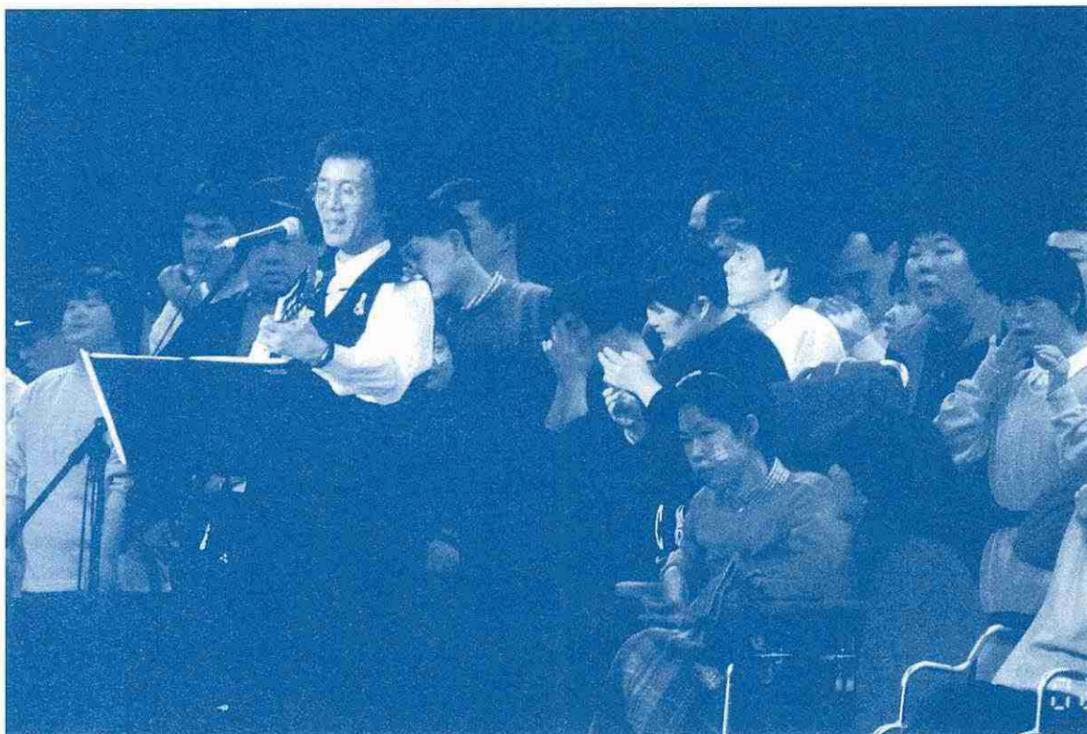
私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組めます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

## ♪とじこめないで夢をあきらめないで愛を

去る三月九日に行いました梅原司平チャリティコンサートⅡは多くの皆様のご協力を頂き大成功に終える事が出来ました。

もみじ作業所は無認可の時代から音楽を通じて皆様に作業所の主旨をご理解頂きご支援を賜ってきました。何かあればコンサートをといて定番とも言うべき取り組みですが、その都度高い評価と数多くのご支援を頂いてきました。今回も例外なく、仲間と親の方にとって差し迫った問題のグループホーム身障ホーム建設のためのご理解と資金援助



ファイナルレ♪

助のお願いのためのコンサートでした。昨年同様、半年前より実行委員会を結成し、準備をして参りましたが、この期間中が我々関係者にとってはしんどくもあり、楽しくもある時間です。まだまだ仲間の夢は無敵大です。しかしこの夢を一つ一つ形にしていく取り組みを今後も続けて行かなければなりません。皆さん、今後とももみじ福祉会並びに後援会にご協力をお願いします。



実行委員長 **大内 宏**

太鼓の練習一杯したステージ気持ち良かったよ  
お客さんこうしよった(拍手)  
太鼓これからもやりたい



仲間 **鈴木 康博** 重ねた練習にウデもピシッ!!

会場満員の盛況で、梅原氏の豊かな感性と真摯な語り口は、会場の方々に深い感銘を与えたのではないのでしょうか。縁あって来場して頂いた方にはもみじ福祉会・後援会への理解と支援のきっかけとなったことと思います。夢を形に合言葉にして、これからも頑張ります。

保護者会会長 **人見 利夫**

みなさん、来て頂けましたか?  
未来は自分たちが作るもの  
未来はだれにでもあるもの  
一人一人の願いや夢をもって  
あきらめずに前に進めば大丈夫  
梅原さんの歌ともみじの仲間のメッセージが届いたでしょうか。来て頂いた方々への応援コンサートにもなることができましたら最高です!



身障ホームグループホーム・地域交流スペース建設支援

**梅原司平**  
チャリティコンサートⅡ

二〇〇二年三月九日(土)  
南区民文化センターホール

### 来場者アンケートから

私たちが太鼓を始めたので練習して、いつか競演できるようにしたいな...と夢が湧いてきます。

梅原さんのコンサート、とっても良かったです。忘れかけていたもの思い出させてくれました。

皆さんが頑張って演奏されててすごく心が打たれました。何か励ましや勇気もらった気がしました。

## もみじ福祉会後援会 総会

2002年6月8日(土) 午前10時~12時  
もみじ作業所にて

**記念講演**  
講師 県立広島女子大学 助教授 **金子 努氏**

**介護保険から見た 支援費支給制度の課題**

金融業界でのペイオフが四月から実施され、自己の判断と責任で事業者を選択することになりました。

実は「福祉版ペイオフ」が介護保険であり、これからはじまる支援費支給制度なのです。

自己の判断と責任で事業者を選択するとは、どういうことを意味しているのか、そして、どのような問題点や課題があるのかを介護保険制度実施二年の現状から考えます。

### お知らせ

- 身障ホーム
- グループホーム
- 地域交流スペース

## 夢づくり応援団

### 中国地方初の複合生活施設建設をめざして

身体障害者の生活する「身障ホーム」、知的障害者の生活する「グループホーム」(緊急一時やレスパイト利用も可能)、また地域の人にも利用していただくための「地域交流スペース」の合築施設建設には、約2億円の自己資金が必要です。

1日も早く、安心して暮らせるホームがほしいと言う障害者・親の願いを実現するために、皆様方のご支援をよろしくお願い致します。

### 2億円の資金づくりにご協力をお願いします。

- 寄付 個人 1口 3,000円
- 団体 1口 10,000円
- 作業所に持参して いただいてもOKです。
- ★郵便振替 口座 夢づくり応援団 番号 01350-5-19452



# 見て！僕らの仕事

## 明日が見える 私達の歩み 年度末発表会

# 2001

二〇〇二年三月二十九日(金)、もみじ作業所食堂にて「第七回年度末発表会」を行いました。

「労働に視点を当て、作業グループの一年や自分の頑張りを振り返る場とする」「各グループの一年の動きをみんなで確認しあえる場とする」という二つの目的で、各グループごとで事

前日に話し合いを持ち、それをもとに発表を行いました。当日は、一年を振り返ってそれぞれグラフや実演などを含め発表に工夫を凝らし、バラエティーに富んだ発表会となりました。(実演では思わず拍手も)また、日頃もみじを支援して頂いている理事・評議員の方々

にも参加して頂き、仲間の労働面での取り組みを伝えることが出来ました。発表会終了後のもみじ作業所開設以来、給食を作ってくれた堀さんの送別会があり、みんなの頑張りを最後に見てもらってのお別れとなりました。

浜崎先生の協力を得て、絵画教室を開きました。その中からステキな絵をカレンダーにしました！月1回の地域販売は、色んなコーナーを設け、工夫しましたヨ。

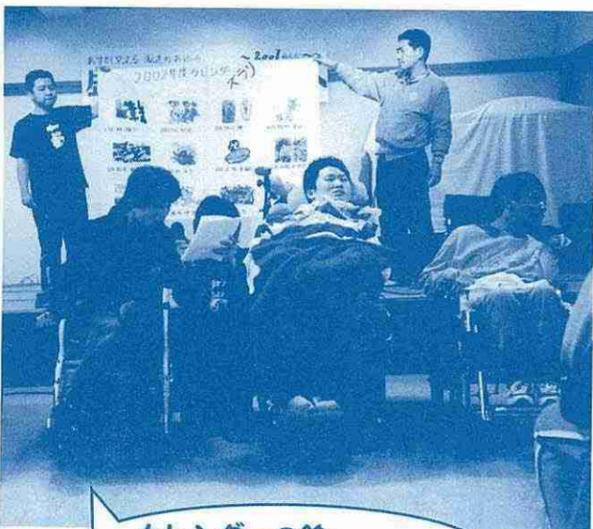
by 印刷・販売グループ



型は抜いても気は抜くな...でがんばります！

1人1人の、がんばりや抱負を発表しました。そして、1年間の売り上げを月ごとにグラフにしてみました！売り上げの多い月、そうでない月...色々です。モットーは「体にやさしく 安全でおいしいものづくりを目指してがんばるゾ。エイ、エイ、オー」

by クッキー・パングループ



カレンダーの絵ズラリせいろい！

### 会ニュース

もみじ作業所の五つの作業班... 輝く働く喜びと誇り



みんな、展示会にむけてがんばった。売り上げは、8~12月がバザーラッシュで多かったよ！それから、布巾の大量注文もあったけど、力を合わせてやったよ！よし、来年もがんばるぞー！

by さをい・縫製グループ



### いっしょに歌い耳がたむけ ホッカホッカの元気と愛を



もみじの仲間達！元気でいますか、ちゃんと仕事がんばっていますか。輝いてますか。みんな知ってる？ともコン(ともだちコンサート)でお馴染みの、あの「たかだりゅうじ」さんが七月に作曲活動三十周年を記念してコンサートをやるんだって。大丈夫かなあ？でも全国からも応援にたくさん来るんだって。地元もがんばらなきゃ。プログラムの中身、聞くところによると「ともコン合唱団」のステージが後半に盛り込んであるんだってさ。しっかりと練習しておかないと...企画担当の新江さんとも「ともコン合唱団」がこのコンサートのメインになるようにしたいと話していたよ。何故か？

たかださんはもみじ作業所と出会って、つまり「ともコン」と関わってから歌作りの重さや歌としてのこだわりを持つようになったんだって。ともコンを始めた時の事、歌声新聞記事にこう記しているよ。本通りのある喫茶店で、広島合唱団の佐々木憲作氏が連れてきたのが、もみじ作業所で働く井上一成氏だったのです。「作業所の法人化に向けてコンサートをしたい。もみじ作業所のことを、この作業所で働く仲間のことを知って欲しい。」そして「働く喜び、生きる喜びを歌に託し、人間として働くことがどんなに大切なことを訴えたい。」そのため「どうやってコンサートを取り組んだらいいのか、と熱っぽく井上氏は問いかけてきました。たかださんは自分の新たなアイフワークの一步がそこから始まったよ。仲間が綴った詩に、何度も涙しながら作曲していったあの第一回ともだちコンサートの取り組みは絶対に忘れられないよ、と。特に『がんばろうや』の歌の作曲を始めた時は溢れるようなさわやかな風が体中を染み渡りようだった。きつと今まで見えてなかった物がこの詩と出会って発見できたんじゃないかな。テーマ曲『ともだち』は最後に出来上がった歌だけど、テーマ曲はどうしてもみんなが参加して作りたくって、

♪歌づくり30年♪  
**たかだりゅうじコンサート**  
 日時 2002年7月19日(金)  
 開場/18:00 開演/18:30  
 会場 アステールプラザ大ホール  
 主催 たかだりゅうじ(歌づくり30年)コンサート実行委員会  
 (事務局) 中区堺町1-2-9-101  
 TEL・FAX/082-295-5065  
 082-294-3981

ます。散え。好きです。すけ。す。

# 研修報告

「障害者の自己決定の尊重」「事業者との私的契約に基づくサービス」「多様な事業者の参入」などをキーワードとして目指すものが述べられ、その後一月十日に行われた担当課長会議で支給決定について障害程度区分の具体的な内容が示されました。今回の制度改革は財政問題からの提起であるといわれているように利用実態から制度を見直

二〇〇二年八月二十三日に行われた全国担当課長会議では、「障害者の自己決定の尊重」「事業者との私的契約に基づくサービス」「多様な事業者の参入」などをキーワードとして目指すものが述べられ、その後一月十日に行われた担当課長会議で支給決定について障害程度区分の具体的な内容が示されました。今回の制度改革は財政問題からの提起であるといわれているように利用実態から制度を見直

二〇〇二年二月八日(金)〜九日(土)にかけて、第四回重度、重複障害実践研究会へ行ってきました。会場は大阪吹田市にある『あいほうぶ吹田』という吹田市立障害者支援交流センターで行なわれました。初めて

の参加にドキドキ・ワクワクしながら出掛けたのですが、着いてみてあまりの立派な施設にまぎびっくり！三階建ての建物の中に知的障害者更生施設(定員四十人)、障害者短期入所施設(定員五人)、身体障害者センター(定員それぞれ十五人)があり、その他に多目的ホール、屋内プール、調理室、陶芸の窯などがあり、それらは、土日には一般開放されているそうです。利用者は重度の障害者が多く、トイレや浴室などは重度の仲間に対応できるようにとても考えられていました。とくにトイレは、種類がたくさんあり羨ましい限りでした。また、スタッフも「POST」と呼ばれているPT、OT、ST、看護婦という医療スタッフが揃っていて、医療ケアの必要な仲間にも安心できる対応がなされ、実践されていました。また、スノーズレ

のボランティアさん達による、手作りのおすしやそばなどあたたかにもてなしを受けて、楽しいひとときを過ごしました。帰りに、大阪の中津にあるさりを本部に立ち寄って、いろいろな作品を見せてもらって、広島に帰ってきました。とても充実した二日間でした。(PS:ホテルの部屋の窓から「太陽の塔」が見えていました。懐かしかった...)

三月二十日(水)に、広島県知的障害者福祉協会日中活動支援部主催の支援費学集いが開催されました。平成十五年度から移行される支援費制度について立命館大学の峰島厚先生を講師にお話いただきました。

したものではありません、結局本人負担の不安と国の公的責任の後退による施設経営の不安だけが残る制度になりそうな気がしてなりません。職員として障害程度区分については一度模範的にやってみて内容を吟味し、保護者や仲間説明できるようにしてほしい。などのアドバイスもいただき、今一度一人一人がしっかりと学習することの必要性を感じた学習会でした。

さて、肝心の重度・重複交流会ですが、やはり支援費の話が主流でした。それと、共作連が行なった重度・重複障害者に関する実態調査の報告で、家族介護が限界にきていることや母親の負担の大きさ、地域から取り残されている現実、重度障害者を受け入れる施設の状況と課題などとてもたくさんの問題があることがわかり、身障ホーム・グループホームの必要性をあらためて強く感じさせられました。夕食は、『あいほうぶ吹田』

えー、よろしくお願色々わからないこと下さい。すもうの千代の富士です。みんなと仲良くなり

えー、よろしくお願色々わからないこと下さい。すもうの千代の富士です。みんなと仲良くなり

発表会。それぞれの作業班が、工夫を凝らし、仲間の持ち味を生かしながらの「働く喜び」と「誇り」に満ちあふれたすばらしい発表をしました。



アルミ缶つぶしの実演です。2001年度は、お弁当箱の仕事がなくなって悲しかった...でも、アルミ缶つぶしとウエスの仕事に力を入れて「もっと、かせこう！」

それにしても、誇りを持って仕事をし定年退職する堀さんを送り出す仲間の優しさなど、仲間の成長ぶりにも感動しました。もみじ作業所の取り組みの豊かさですばらしさを改めて実感しました。一緒にがんばりましょう。

by 軽作業グループ

「不良品は絶対に出さないぞ!」「オー!」「急ぎの注文にもこたえるヨ!...たとえ、お昼ごはんを食べるのが遅くなくても...」



やっほー!

## 新しいなか

たに 英治 さん

あん 阿武 政 さん

4月1日より、もみじ作業所に入った。まだ作業所のこと、よくわからないので、色々教えてもらってなんとかやっています。作業所のみな様に迷惑をかけないように、努力してみたいと思います。みな様に聞くことが多いと思いますが、努力したいと思います。

気はやさしくダンボールの入り、材料を力仕事も含め折りなどで活躍

軽作業でアルミ缶つぶしの仕事を中心にがんばっています。

**MOMIJI 伝言板**

**6月6日(木)**

学生無年金障害者訴訟  
第5回裁判

◎みんなで応援に行こう!

**行事目録**

**2月**

- 4日 ビジネス専門学校より実習来所(-15日) 佐々木氏見学来所
- 5日 生活自立訓練C-4(-7)
- 6日 吉島中学校1年生見学来所
- 6日 もみじ作業所地域販売デー
- 14日 西福祉事務所定期訪問調査
- 16日 夢づくり応援団「引きよせよう夢集い」
- 17日 中区社協主催「雪遊び」参加
- 20日 職員採用面接試験(-21日)
- 21日 避難訓練
- 24日 梅原司平チャリティコンサートⅡ・全体練習

**3月**

- 1日 白石先生講演会・事例検討会(-2日) 広島テレビ取材
- 3日 梅原司平チャリティコンサートⅡ・全体練習
- 4日 佐伯福祉事務所定期訪問調査 けやきワークス見学来所
- 5日 生活自立訓練B-5(-7)
- 6日 もみじ作業所地域販売デー
- 7日 避難訓練、定期防火設備点検
- 9日 梅原司平チャリティコンサートⅡ 「たまご」より実習来所
- 11日 生活自立訓練D-5(-14)
- 12日 生活自立訓練C-5(-20)
- 14日 もみじ福祉会・生活支援世話人交流会
- 18日 生活自立訓練C-5(-20)
- 19日 司法修習生見学交流
- 25日 もみじ福祉会第10回評議員会・第44回理事会
- 26日 仲間健康診断Ⅱ、生活自立訓練終了式
- 28日 無年金障害者訴訟・第4回裁判
- 29日 もみじ作業所「年度末発表会」

**4月**

- 3日 もみじ作業所地域販売デー
- 6日 職員歓迎会
- 12日 2001年度総括会議(-13日)
- 14日 身障者スポーツ大会参加
- 19日 きょうされん虹の会「はばたこう交流会」参加
- 21日 夢をかたちに委員会・街頭カンパ活動
- 25日 もみじ作業所・国会議員署名行動
- 26日 もみじ福祉会保護者総会

**5月**

- 1日 もみじ作業所地域販売デー
- 3日 フラワーフェスティバル出店参加(-5)
- 9日 ディキャンプ(親子共同)
- 16日 クラブ活動
- 18日 きょうされん全国大会参加(-29愛知)
- 18日 ナイスハートふれあいスポーツ広場参加
- 19日 広島県知事協会の西部ブロック親善球技大会参加
- 21日 もみじ福祉会内部監査
- 24日 もみじ福祉会第11回評議員会、第45回理事会

